

## (財) アジア女性交流・研究フォーラム 調査・研究ライン 2011年度活動報告

(財) アジア女性交流・研究フォーラム (KFAW) 調査・研究ラインは、2011年度に次の7つの事業を実施しました。

1. 共同研究
2. 客員研究員研究
3. KFAWアジア研究者ネットワーク
4. デートDV予防教育ファシリテーター養成講座フォローアップ研修
5. デートDV予防教室
6. 研究誌の刊行
7. 研究成果の発信

### 1. 共同研究

調査研究結果をこの号に掲載しています。

### 2. 客員研究員研究

2011/12年度客員研究員（2011年7月から2012年12月）と研究テーマ

「農村女性起業家の事業継続を支援するための調査・分析・ネットワーク開発に関する研究」

法政大学 兼任講師 岡部佳世

恵泉女学園大学 兼任講師 且まゆみ（共同研究者）

「アジア地域における移行経済国から日本への女性の結婚移住—インドシナ難民家族と滞日中国人家族における移民女性の事例から—」

東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター 特任専任講師 長谷部美佳

首都大学東京 博士課程 王岩（共同研究者）

### 3. KFAWアジア研究者ネットワーク

第1回 2011年6月16日 (木) 18:00~19:30

「大震災と救援—自助・共助・公助と日本赤十字社の役割—」

日本赤十字九州国際看護大学 学長 喜多悦子

＜北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム (参加者27名) >



第2回 2012年2月21日 (火) 18:00~20:00

「ボランティアとNPO研究の最前線—福祉社会学の視点から—」

九州大学大学院 教授 安立清史

＜北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム (参加者23名) >



第3回 2012年3月21日 (水) 18:00~20:00

「子どもの『生きる力』と体験の意味—『欠損体験』補完プログラムの必要—」

九州女子大学共通教育機構 准教授 大島まな

＜北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム (参加者33名) >



#### 4. デートDV予防教育ファシリテーター養成講座フォローアップ研修

2010年度に実施したデートDV予防教育ファシリテーター養成講座のフォローアップ研修を実施し、修了生14名は高校や大学などで予防教育をするために実践的なスキルを学びました。

第1回 2011年4月27日（水）18:30～20:30

- ・「受講生アンケートからの課題／ジェンダーの概念について」  
KFAW主席研究員 篠崎正美
- ・修了生による模擬授業「デートDV予防教育について」

第2回 2011年5月20日（金）18:30～20:30

- ・「北九州市におけるDV対策の取り組みについて」  
北九州市子ども家庭局男女共同参画推進部 次長 坂井桂子
- ・「第2次福岡県配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する基本計画について」  
福岡県新社会推進部男女共同参画推進課 課長補佐 高山淳
- ・修了生による模擬授業「デートDV防止について（高校生編）」

第3回 2011年6月28日（火）18:30～20:30

- ・「デートDVおよびDVの事例とサポート研究について」  
久留米市男女平等推進センター 相談コーディネーター 石本宗子
- ・修了生による模擬授業「デートDVを知っていますか？」

第4回 2011年8月7日（日）10:00～16:00

デートDV予防教室実施へ向けて最後の研修として、修了生が高校生対象の予防教室の模擬授業を行いました。講師の先生方に講評していただき、お互いに意見交換をしました。

第5回 2012年3月15日（木）17:00～18:30

今年度の活動のふりかえりと来年度以降の活動についての協議

フォローアップ研修担当講師

北九州シェルター 代表代行 富安兆子  
九州産業大学教授／メープルリーフの会 窪田由紀  
こころの相談室かもみ〜る カウンセラー／メープルリーフの会 蒲原くみ恵  
KFAW主席研究員 篠崎正美



## 5. デートDV予防教室

北九州市からの委託事業として、デートDV予防教室活用セミナーを行ったほか、北九州市の高等学校、専門学校、短期大学、大学でデートDV予防教室を実施しました。

### (1) デートDV予防教室活用セミナー

2011年8月3日（水）14:00～16:30

第1部「高校生等のデートDVと予防教育を考える」

アウェア代表 山口のりこ

第2部「デートDV予防教室」授業デモンストレーション

KFAW主席研究員 篠崎正美

<北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム（参加者42名）>

デートDV予防教育の必要性について多くの人びとにお知らせするとともに、今後実施するデートDV予防教室の内容について紹介するため、北九州市と近隣の市町村の学校関係者や保護者などを対象にセミナーを行いました。



### (2) デートDV予防教室の実施

2011年8月から2012年3月まで、北九州市内の22の高等学校、専門学校、短期大学、大学などで、デートDV予防教室を実施し、約4000名の学生が受講しました。



## 6. 研究誌の刊行

『アジア女性研究』 第21号 (2012年3月)

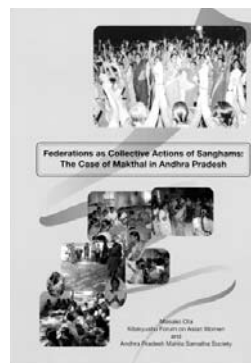
*Journal of Asian Women's Studies* Volume 20 (2012年3月)

『KFAW調査研究報告書』 Vol. 2011-1

Women's Empowerment through Collective Actions: The Case of Makthal Federation in Andhra Pradesh, India [女性のエンパワーメントのための問題解決型アプローチ—インド、アンドラ・プラデシュ州、マクタル女性連盟を事例として—] 太田まさこ (2011年8月)

共同研究報告書

Federations as Collective Actions of *Sanghams*: The Case of Makthal in Andhra Pradesh  
太田まさこ・Andhra Pradesh Mahila Samatha Society (2011年5月)



## 7. 研究成果の発信としてセミナーなどの開催

2011年5月19日 (木) 13:30~15:00

第55回国連女性の地位委員会 参加報告会

「UN Women設立について」

UN Women日本国内委員会 副理事長 三隅佳子

「第55回国連女性の地位委員会とパネリスト

として発表したサイド・イベント

“Empowerment of Women in Rural Japan”

(日本の農村女性のエンパワーメント) について」

KFAW主席研究員 篠崎正美

<北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム (参加者37名) >



2011年11月27日 (日) 10:30~12:00

第22回アジア女性会議—北九州 KFAW研究員報告会

「日本と韓国における少子化対策として有効な子育て支援施策の比較研究—中間報告—」

KFAW主席研究員 篠崎正美

「女性のエンパワーメントのための問題解決型アプローチ—インド、アンドラ・プラデシュ州、マクタール女性連盟を事例として—」

KFAW主任研究員 太田まさこ

<北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 大セミナールーム (参加者37名) >

毎年11月にKFAWが主催している「アジア女性会議—北九州」第22回は「災害と向き合う—東日本大震災から学ぶ」をテーマにして11月26・27日に行いました。第2日目はKFAW研究員による調査研究の成果を共有し、参加者との意見交換を行いました。



2011年11月27日 (日) 13:00~14:30

第22回アジア女性会議—北九州 KFAW日韓共同研究報告会 (第4回日韓セミナー)

「既婚女性の就労を支援するパーソナルネットワークについて—福岡県 (北九州市と福岡市)、韓国 (忠清南道) の調査から—」

2010年度KFAW研究スタッフ 石川勝彦

「子育て支援ネットワークの実態と就業に対する認識調査—日韓の比較を中心に—」

韓国・忠南女性政策開発院 研究員 チェ・ウンヒ

<北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 大セミナールーム (参加者31名) >

午後は、当財団の昨年度のスタッフと、当財団と学術協定を締結した韓国の忠清南道女性政策開発院の研究員との共同研究の結果を報告しました。



2012年2月11日（土）13:30～17:00

「日本南アジア学会九州支部 2011年度 第3回定例研究会」

「コミュニティ参加型開発と貧困削減、エンパワーメント—パキスタンの女性NGOの事例」

一橋大学経済研究所 教授 黒崎 卓

「パキスタンの都市搾乳業の地域展開」

福岡県立大学 教授 中里亜夫

＜北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム（参加者20名）＞

日本南アジア学会九州支部は、年に2回程度、主に福岡市で定例研究会を開催しています。今回は、南アジア、特にパキスタン研究がご専門の先生方が発表されることになり、アジア女性交流・研究フォーラムで学会の会員でない方もご参加いただく形で共催しました。



2012年3月2日（金）12:30～14:00

「第56回国連女性の地位委員会 NGOパラレル・イベント」

“Empowerment of Japanese Rural Women under the Globalizing Economy and the Great Disaster” [日本の農村女性のエンパワーメント—経済のグローバル化と東北大震災のもとで]

“Empowerment of Japanese Rural Women”

KFAW主席研究員 篠崎正美

“Female Entrepreneurs in Farming”

2011/12年度KFAW客員研究員 岡部佳世

第56回国連女性の地位委員会には、「農山漁村女性のエンパワーメントと貧困と飢餓の根絶、開発及び現在の課題におけるその役割」が優先テーマでした。篠崎研究員が2月26日から3月2日まで参加し、NGOパラレル・イベントを主催しました。

（太田まさこ 溝越富士子 記）